

プログラム

シンポジウム 1

9月12日(土) 11:00～12:00

第1会場 2F 中会議場 1+2

〔座長〕 梶 龍児 国立大学法人徳島大学研究支援・産官学連携センター 研究推進部門
目崎 高広 榊原白鳳病院 脳神経内科

『ジストニアにおけるボツリヌス治療と併用療法の実際』

SY1-1 徳島大学病院での上肢ジストニア治療

福本 竜也 徳島大学病院脳神経内科

SY1-2 臨床病型に応じたジストニアの治療選択

島津 秀紀 武庫川女子大学

SY1-3 内服治療とボツリヌス治療の併用

松本 真一 大阪脳神経外科病院 脳神経内科

シンポジウム 2

＜日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修認定単位＞

9月12日(土) 13:50～14:50

第1会場 2F 中会議場 1+2

〔座長〕 大島 洋平 東鷺宮病院 整形外科／埼玉県立小児医療センター 整形外科
菊地 尚久 千葉県千葉リハビリテーションセンター

『脳性麻痺痙縮の実践』

SY2-1 ボツリヌス治療と装具療法の併用

菊地 尚久 千葉県千葉リハビリテーションセンター

SY2-2 ボツリヌス治療から選択的脊髄後根切断術への移行・両者の棲み分け

大島 洋平 東鷺宮病院 整形外科／埼玉県立小児医療センター 整形外科

SY2-3 「ボツリヌス治療から整形外科手術への移行

ーリハビリテーション診療の中で考える手術適応ー」

水野 稚香 宮城県立こども病院

シンポジウム 3

9月12日(土) 14:55～15:55

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 落合 卓 医療法人社団ブレイン・コンシェルジュおちあい脳クリニック 脳神経外科
谷 直樹 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

『頸部・喉頭ジストニアの治療戦略ーボツリヌス治療から手術までー』

SY3-1 痙攣性斜頸に対するボツリヌス療法と脳深部刺激療法 ー病型に応じた治療戦略ー

竹林 成典 たけばやし脳神経クリニック

SY3-2 内転型痙攣性発声障害にたいする Botulinum Toxin and Thyroarytenoid Muscle Resection Combination Therapy

望月 隆一 あべのハルカス坂本耳鼻咽喉科・大阪ボイスセンター／
奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

SY3-3 痙攣性発声障害に対する手術治療とボツリヌス注射の役割分担

渡嘉敷亮二 新宿ボイスクリニック

シンポジウム 4

9月12日(土) 16:00～17:40

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 木村亜紀子 やさしい目のクリニック
野倉 一也 社会医療法人大雄会総合大雄会病院 脳神経内科

『顔面領域のボツリヌス治療』

SY4-1 眼科医が取り組む片側顔面痙攣へのボツリヌス治療

望月 嘉人 兵庫医科大学

SY4-2 脳神経内科医が取り組む顔面領域のボツリヌス治療

野倉 一也 社会医療法人大雄会総合大雄会病院 脳神経内科

SY4-3 顔面痙攣・顔面神経麻痺後遺症へのボツリヌス毒素治療の 満足度アンケート調査

古川 孝俊 山形県立新庄病院耳鼻咽喉科／山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

SY4-4 当科における顔面神経麻痺後遺症に対するボツリヌス治療

稲中 優子 大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

SY4-5 ボツリヌストキシンによる表情筋調律 ー自由診療における全顔アセスメントに基づく表情筋制御ー

西田 美穂 Beauty Tuning Clinic

シンポジウム 5

<日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修認定単位>

9月13日(日) 9:00～10:00

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 貴島 晴彦 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科
正門 由久 IMS 新越谷病院

『外科治療とボツリヌス治療の役割分担と併用』

SY5-1 脳神経外科におけるボツリヌス治療の役割

貴島 晴彦 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

SY5-2 整形外科領域におけるボツリヌス治療の役割

柴田 徹 兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター

SY5-3 眼瞼痙攣の治療（ボツリヌス毒素、形成手術など）

根本 裕次 日本医科大学眼科

SY5-4 泌尿器科領域におけるボツリヌス治療の役割

本田 正史 松江赤十字病院 泌尿器科

シンポジウム 6

9月13日(日) 10:05～11:05

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 兵頭 政光 細木病院 耳鼻咽喉科・こえと嚥下のセンター
吉田 和也 京都医療センター歯科口腔外科

『歯科口腔領域のボツリヌス治療：適応判断と安全な臨床応用』

SY6-1 歯科口腔領域におけるボツリヌス治療の適応と安全な注射設計

吉田 和也 京都医療センター歯科口腔外科

SY6-2 口腔顔面痛診療からみたボツリヌス治療の位置づけ

坂本 英治 九州大学病院 顎口腔外科

SY6-3 歯科開業医におけるボツリヌス治療の実際と医療連携

古畑 梓 医療法人社団梓会 古畑いびき睡眠呼吸障害研究所 古畑歯科医院／
独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 歯科口腔外科／
日本歯科大学附属病院 内科

シンポジウム 7

9月13日(日) 13:45～14:45

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 坪井 義夫 順天堂大学・つつみクリニック福岡
細見 晃一 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

『慢性流涎治療の新展開』

SY7-1 慢性流涎に対するボツリヌス治療の適応と患者選択

向井 洋平 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科診療部

SY7-2 慢性後方型流涎症の重要性と対策

中村 雄作 りんくう総合医療センター脳神経内科

SY7-3 慢性流涎に対するボツリヌス治療の初期経験

細見 晃一 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

シンポジウム 8

<日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修認定単位>

9月13日(日) 14:50～15:50

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 安保 雅博 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座
内山 卓也 近畿大学医学部 脳神経外科

『痙縮治療の再設計：ボツリヌス治療を機能改善につなげる目標設定と戦略』

SY8-1 脳卒中後痙縮に対するボツリヌス療法とリハビリテーション治療の ゴール設定

佐伯 覚 産業医科大学医学部リハビリテーション医学講座

SY8-2 脳性麻痺に対する機能改善を目指したボツリヌス治療のゴール設定

杉山 智子 千葉県千葉リハビリテーションセンター／昭和大学リハビリテーション医学講座

SY8-3 痙縮機能改善につなげる多職種連携によるゴール設定

高橋 忠志 東京都立荏原病院リハビリテーション科

教育講演 1

9月12日(土) 16:00～16:30

第2会場 2F 中会議場 3+4

EL1 ジストニア診療入門

[座長] 島津 秀紀 武庫川女子大学・薬学部

[演者] 目崎 高広 榊原白鳳病院

教育講演 2

9月12日(土) 16:35～17:05

第2会場 2F 中会議場 3+4

EL2 泌尿器科におけるボツリヌス治療 ー当院での経験を中心にー

[座長] 加賀 勘家 千葉県立佐原病院 泌尿器科

[演者] 乃美 昌司 兵庫県立リハビリテーション中央病院・泌尿器科

教育講演 3

9月12日(土) 17:10～17:40

第2会場 2F 中会議場 3+4

EL3 脳卒中後リハビリテーション診療とボツリヌス治療

[座長] 根本 明宜 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院

[演者] 川手 信行 昭和医科大学リハビリテーション医学講座

教育講演 4

9月13日(日) 11:25～11:55

第2会場 2F 中会議場 3+4

EL4 痙攣性発声障害

[座長] 望月 隆一 あべのハルカス坂本耳鼻咽喉科・大阪ボイスセンター /
奈良県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

[演者] 兵頭 政光 細木病院 耳鼻咽喉科・こえと嚥下のセンター

教育講演 5

9月13日(日) 13:10～13:40

第2会場 2F 中会議場 3+4

EL5 パーキンソン病における慢性流涎診療の基本と実践

[座長] 谷 直樹 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

[演者] 大山 彦光 埼玉医科大学 脳神経内科

ビギナーズセミナー

9月13日(日) 14:05～14:35

第2会場 2F 中会議場 3+4

BS 脳神経領域でのボツリヌス治療

[座長] 立林 恭子 三井記念病院 脳神経外科 顔面痙攣・三叉神経痛・舌咽神経痛 治療センター

[演者] 押野 悟 阪和記念病院 / 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

スキルアップレクチャー

9月13日(日) 13:45～14:05

第2会場 2F 中会議場 3+4

SU 大学病院および関連施設におけるボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法の経験

[座長] 曲 友弘 医療法人社団美心会黒沢病院泌尿器科

[演者] 志村 寛史 山梨大学大学院総合研究部泌尿器科学講座

ハンズオンセミナー 1

9月12日(土) 13:50～15:20

ハンズオンセミナー会場 特別会議室 101

『痙性斜頸、眼瞼痙攣のボツリヌス治療における投与筋の同定』

〔演者〕 中村 雄作 りんくう総合医療センター

〔演者〕 木村亜紀子 やさしい目のクリニック

共催：帝人ファーマ株式会社

ハンズオンセミナー 2

9月13日(日) 9:40～11:10

ハンズオンセミナー会場 特別会議室 101

『痙縮のボツリヌス治療における投与筋の選定および同定』

〔演者〕 本村 和也 グラクソ・スミスクライン株式会社 メディカル本部

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー 1

9月12日(土) 12:10～13:10

第1会場 2F 中会議場 1+2

〔座長〕 木村亜紀子 やさしい目のクリニック

中村 雄作 りんくう総合医療センター

『痙性斜頸、眼瞼痙攣に対するボツリヌス治療』

LS1-1 ボツリヌス毒素製剤ゼオマイン®による痙性斜頸への治療効果と有用性

〔演者〕 中村 雄作 りんくう総合医療センター

LS1-2 眼科における眼瞼痙攣

〔演者〕 木村亜紀子 やさしい目のクリニック

共催：帝人ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 2

9月12日(土) 12:10～13:10

第2会場 2F 中会議場 3+4

〔座長〕 幸田 剣 和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座

『痙縮のトータルマネジメント』

LS2-1 ～当院が大学病院と連携して ITB 療法を始めた理由と症例報告～

〔演者〕 児玉 万実 御所南リハビリテーションクリニック

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 3

9月13日(日) 12:05～13:05

第1会場 2F 中会議場 1+2

〔座長〕 貴島 晴彦 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

『外傷性脳損傷（TBI）の再生医療』

LS3-1 頭部外傷後慢性期患者に対する新たな治療選択肢 ーアクーゴ注入療法の実際と今後の展望ー

〔演者〕 中村 元 名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経外科

LS3-2 再生医療におけるリハビリテーション治療の役割と可能性

〔演者〕 勝谷 将史 社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科

共催：サンバイオ株式会社

ランチョンセミナー 4

9月13日(日) 12:05～13:05

第2会場 2F 中会議場 3+4

〔座長〕 藤原 俊之 順天堂大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学講座

LS4-1 ボツリヌス治療の変遷から考える痙縮マネジメント ～下肢の用法・用量変更を踏まえて～

〔演者〕 菊地 尚久 千葉県千葉リハビリテーションセンター

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

一般演題 1：痙縮 1

9月12日(土) 11:20～12:00

第2会場 2F 中会議場 3+4

[座長] 押野 悟 阪和記念病院／大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

01-1 難治性痙縮におけるボツリヌス毒素療法とITB療法の併用戦略

森下 暁二 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 脳神経外科 /
兵庫県立加古川医療センター 脳神経外科

01-2 破傷風後の痙縮に対しITBバクロフェン髄腔内持続投与療法にボツリヌス療法を追加しITB離脱可能となった1例

前田 裕仁 白庭病院

01-3 ボツリヌス毒素療法後の自主トレーニングの有用性について

鈴木 雄介 札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション部

01-4 ボツリヌス毒素療法と理学療法の併用により歩行時の麻痺側膝痛が消失した脳卒中片麻痺者の1例

門田虎之介 藤田医科大学病院 リハビリテーション部

一般演題 2：顔面痙攣・眼瞼痙攣

9月12日(土) 15:25～15:55

第2会場 2F 中会議場 3+4

[座長] 古川 孝俊 山形県立新庄病院耳鼻咽喉科／山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

02-1 眼瞼痙攣と片側顔面痙攣に対するボツリヌス治療の実臨床成績

栗原可南子 福岡大学 脳神経内科

02-2 失敗2例から学ぶボツリヌス治療（片側顔面痙攣と眼瞼痙攣 編）

寺本 傑 新潟県厚生連上越総合病院

02-3 末梢性顔面神経麻痺の一例報告

立林 恭子 三井記念病院 脳神経外科 顔面痙攣・三叉神経痛・舌咽神経痛 治療センター

一般演題 3：痙縮 2

9月13日(日) 11:15～11:55

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 福本 竜也 徳島大学病院 脳神経内科

03-1 ボツリヌス療法により非麻痺側の筋力低下を生じた事例への対応

市川 璃子 藤田医科大学ばんだね病院リハビリテーション部

03-2 握りこぶし状変形に対してボツリヌス治療を行った1例

神谷 武志 沖縄第一病院

03-3 ボツリヌス毒素療法により簡易型短下肢装具への移行に至った 亜急性期脳卒中片麻痺者の1例

濱守 巧光 藤田医科大学病院 リハビリテーション部

03-4 ボツリヌス療法導入までの妊娠・授乳期における成人脳性麻痺患者の 痙縮管理

田口 周 関西医科大学リハビリテーション医学講座

一般演題 4：ジストニア

9月13日(日) 13:10～13:40

第1会場 2F 中会議場 1+2

[座長] 竹林 成典 たけばやし脳神経クリニック

04-1 感覚トリックにより異常筋活動が顕在化したまれな 両側耳介ジストニアの治療経験

高橋 千晶 金沢医科大学 リハビリテーション医学科

04-2 ボツリヌス治療難治例（ジストニア）に対するドパミン作動性薬物治療

松本 真一 大阪脳神経外科病院 脳神経内科

04-3 ボツリヌス治療領域の現状：ボツリヌス治療難民と危機

森 仁 水島中央病院脳神経内科